

ルートの設定と案内

目的地を探したら、ルートを設定します。ルートが設定されると案内がはじまりますので、ルート案内にしたがって走行してください。

検索した地点を確認・設定する	60	目的地・経由地の順番を並べ替える	68
現在の条件でルートを探索する	60	目的地・経由地を消去する	68
ルートの確認や設定をする	60	区間ごとに探索条件を設定する	68
検索した地点の位置を修正する	61	有料道路の出入口を変更する	69
検索した地点をルート上に追加する	61	スマートICとは	69
検索した地点を本機に登録する	61	設定したルートを確認する	70
検索した地点周辺の駐車場を探す	61	ルート上の情報を見る	70
検索した地点の施設情報を表示する	61	ルートをシミュレーション走行する	70
走行するルートを設定する	62	現在のルートを登録する	70
現在の条件でルートを探索する	62	ルート上の地図をスクロールする	71
異なる条件のルートから選択する	62	ルート案内の音量を確認・設定する	71
ルートの確認・登録をする	63	ルート案内時の音声出力を切り替える	71
行き先を追加する	63	ルート案内を中止する	71
internaviルートを選択する	63	ルートを消去する	71
有料道路の出入口を選択する	64	ルート案内中の地図画面	72
設定済みのルートを再探索する	65	ルート案内中の案内表示	73
設定した条件で再探索する	65	交差点手前で出る案内表示	73
探索条件を変更して再探索する	65	高速道路での案内表示	73
internaviルートの探索条件を変更する	65	ETCレーンガイドでの案内表示	74
迂回ルートを再探索する	66	細街路での表示	75
目的地・経由地を編集する	66	ルート案内中の音声案内	76
目的地・経由地設定時のご注意	66	運転中の音声案内例	76
経由地を追加する	67	進行方向の案内について	76
目的地・経由地の位置を修正する	67		

検索した地点を確認・設定する

地点検索で地点を探したら、ルートを設定する前に位置を修正したり、地点を登録できます。また、目的地の施設情報などを確認することもできます。

この操作は、検索結果画面から行います。

地点を検索 → P.39 ▶▶

検索結果画面



※走行中はタッチできる項目が限定されます。

現在の条件でルートを探る

ルート探索の条件は変更できます。

→ P.62、P.65

1 地点を検索 → P.39 ▶ **案内開始**

そのままの条件でルートが探索されます。

— MEMO —

- 以下の場合、一般道と有料道路(または高速道路)のどちらを現在走行中であるかを確認する画面が表示されます。**有料/高速**または**一般道走行**をタッチしてください。

この確認画面は、探索条件を指定するものではありません。

- 有料道路、または高速道路に自車位置がある場合
- 一般道に自車位置があり、自車位置から約100m以内に有料道路や高速道路がある場合
- 探索したルートに冬季規制道路がある場合は、ルート案内がはじまる前にお知らせ画面が表示されます。
- 緊急施設(病院など)を目的地にした場合、確認画面が表示されます。

なお、検索方法によっては緊急施設を目的地に設定できない場合があります。

- 検索した地点から最も近い道路が有料道路、または高速道路の場合は、その道路上で案内を終了するかどうか確認する画面が表示されます。

なお、検索方法によっては、確認画面が表示されない場合があります。

ルートの確認や設定をする

地点を検索してルート案内を開始する前に、ルートの確認をしたり、ほかのルートを探して選択できます。

1 地点を検索 → P.39

▶ **ルートを表示**

2 目的の項目を選択



案内開始：

選択したルートにしたがってルート案内を開始する。→ P.62

他のルートを選ぶ：

異なる条件の5つのルートから、お好みのルートを選択する。→ P.62

ルートの確認・登録：

ルートの各種情報の確認やルートに登録する。→ P.63

行き先を追加：

ルートに行き先を追加する。→ P.63

internavi/ルート：

インターナビで取得したルートを選択する。→ P.63

インターナビについて詳しくは、「インターナビ・プレミアムクラブ編」取扱説明書をご覧ください。

検索した地点の位置を修正する

検索した地点の位置を、地図をスクロールして調整できます。

1 地点を検索→ P.39 ▶ **位置を修正**

2 地図をスクロールして位置を修正

▶ **決定**

検索結果画面に戻り、調整した地点を中心とした地図が表示されます。

微調整：

詳細な位置修正をする。→ P.31

検索した地点をルート上に追加する

すでにルートが設定されている場合に、検索した地点をルート上の経由地として追加したり、目的地に再設定できます。

1 地点を検索→ P.39

▶ **ルートに追加**

行き先追加画面が表示されます。

2 **ここに追加**



選択した位置に地点が追加され、ルート探索結果画面が表示されます。→ P.62

検索した地点を本機に登録する

検索した地点を本機に登録リストに登録できます。(最大400件)

— お知らせ —

- 地点の検索方法が「登録地点」の場合は、この操作は行えません。

1 地点を検索→ P.39 ▶ **ここを登録**

検索した地点周辺の駐車場を探す

検索結果地点から半径800m以内にある駐車場を探します。(最大10件)

1 地点を検索→ P.39 ▶ **周辺駐車場**

2 駐車場を選択



駐車場キーをタッチすると、検索結果画面に戻ります。

検索した地点の施設情報を表示する

— お知らせ —

- 検索した施設の種類によって、表示される画面は異なります。
- 施設に情報がない場合、**情報** はタッチできません。

1 地点を検索→ P.39 ▶ **情報**

施設情報画面が表示されます。→ P.53
SA/PAの場合



SA/PA以外の場合



走行するルートを設定する

目的地を設定したら、走行するルートを決めます。条件の異なるルートと比較したり、経由地を追加することもできます。この操作はルート探索結果画面から行います。

地点を検索 → P.39 ▶▶

ルートを表示 ▶▶

ルート探索結果画面



※走行中はタッチできる項目が限定されます。

現在の条件でルートを探る

現在設定されている条件のまま、ルートを探して案内を開始します。

1 地点を検索 → P.39

▶ ルートを表示

2 案内開始

現在の条件でルートが探索されます。

— MEMO —

- ルート探索結果画面を表示したまましばらくすると、現在の条件で自動的にルート案内を開始します。
- 探索したルートに冬季規制道路がある場合は、ルート案内がはじまる前にお知らせ画面が表示されます。

異なる条件のルートから選択する

ルート探索時には、地図上に5つのルートが表示されます。

異なる条件で探索された5つのルートから、お好みのルートを選択できます。

— お知らせ —

- 経由地、または高速道路出入口の指定がある場合は、この操作は行えません。
- 探索条件の「internavi/ルート」を選択している場合は、この操作は行えません。

1 地点を検索 → P.39

▶ ルートを表示

2 他のルートを選ぶ

ルート選択画面が表示されます。

3 お好みのルートを選択



有料優先：

有料道路を優先的に使用する。
目的地までの所要時間が短くなるルートです。

有料優先 (別ルート)：

「有料優先」とは異なる有料道路を優先的に使用する。
「有料優先」のルートと同じになる場合もあります。

一般優先：

一般道路を優先的に使用する。
目的地までの所要時間が短くなるルートです。

一般優先 (別ルート)：

「一般優先」とは異なる一般道路を優先的に使用する。
「一般優先」のルートと同じになる場合もあります。

距離優先：

一般道路を優先的に使用する。
目的地までの距離が短くなるルートです。
渋滞情報は考慮しませんが、規制情報は考慮します。

4 案内開始

ルートの確認・登録をする

- 1 地点を検索 → P.39
 - ▶ ルートを表示
- 2 ルートの確認・登録
- 3 目的の項目を選択



ルート情報：

ルート上の情報を表示する。→ P.70

現在のルートを登録：

現在のルートを本機に登録する。
→ P.70

地図スクロール：

地図をスクロールしてルートを確認する。→ P.71

行き先を追加する

追加した地点は、目的地や経由地に設定できます。

— お知らせ —

- 経由地が5つ設定されている場合は追加できません。

- 1 地点を検索 → P.39
 - ▶ ルートを表示
- 2 行き先を追加
- 3 行き先を検索 → P.39
- 4 ここに決定する



位置を修正：

地図をスクロールして、検索した地点の位置調整を行う。

情報を見る：

検索した地点の施設情報を表示する。
→ P.53

ここを登録：

検索した地点を本機に登録する。

5 ここに追加



選択した位置に地点が追加されます。

internaviルートを選択する

インターネットで取得したルートを選択できます。

- 1 地点を検索 → P.39
 - ▶ ルートを表示
- 2 internaviルート
- 3 目的の項目を選択



スマートルート：

時間、料金、ETC割引をバランス良く考慮したルートを使用する。

最速ルート：

最短時間で目的地に到着できるルートを使用する。

最速無料優先ルート：

一般道、無料の高速道路を優先したルートを使用する。

ETC割引ルート：

ETC割引を積極的に利用し、料金を割安にするルートを使用する。

省燃費ルート：

燃料消費量が最小でCO2排出量も削減できるルートを使用する。

走行するルートを設定する

— お知らせ —

- 本機能はインターネットへの接続が必要です。
インターネットナビについて詳しくは、「インターネットナビ・プレミアムクラブ編」取扱説明書をご覧ください。
- 選択できるinternaviルートタイプは変更される場合があります。

有料道路の出入口を選択する

使用する有料道路の出入口をリストから選択できます。

1 地点を検索 → P.39

▶ ルートを表示

2 入口施設名称、または出口施設名称を選択



選択した出入口の前後3つまでの出入口と、その間で分岐・合流する有料道が変更対象となります。

— お知らせ —

- 「有料道入口」、または「有料道出口」と表示されている入口施設名称、出口施設名称はタッチできません。
- internaviルートでの案内中は、この操作は行えません。

3 変更する出入口の名称を選択



「分岐・合流」を表す道路名をタッチした場合は、高速出入口リストが表示されます。同様に、変更する出入口を選択してください。



入口施設名称、または出口施設名称の表示が切り替わり、ルートが探索されます。

設定済みのルートを再探索する

ルートメニュー画面では、一度設定したルートを条件を変更するなどして手動で再探索できます。また、渋滞を迂回してルートを探することもできます。

MENU ▶▶ **ルート** ▶▶

ルートメニュー画面



※走行中はタッチできる項目が限定されます。

— お知らせ —

- ルートが未設定の状態では、ルートメニュー画面の探索条件キーをタッチできません。探索条件を変更したい場合は、ルートメニュー画面の **音声案内・探索設定** ▶ **探索条件** をタッチして選択してください。設定された探索条件は、次のルート探索に引き継がれます。

設定した条件で再探索する

ルート設定時に探索された5つのルートをすべて再探索します。→ P.62

1 **MENU** ▶ **ルート**

2 **再探索**

— お知らせ —

- 立寄地設定時にこの操作をすると、立寄地は消去されます。→ P.47
- 経由地、または有料道路の出入口が設定されている場合は、1ルートのみ探索します。

— MEMO —

- 有料道路の出入口設定時は、設定を継続するかどうかを確認するメッセージが表示されません。

探索条件を変更して再探索する

高速道路を走行中に一般道に降りたくなった場合などに便利な機能です。

1 **MENU** ▶ **ルート**

2 **希望の探索条件を選択**



選択した探索条件で、ルートを再探索します。
→ P.142

internaviルートの探索条件を変更する

1 **MENU** ▶ **ルート**

2 **internaviルートタイプ選択**

3 **目的の項目を選択**

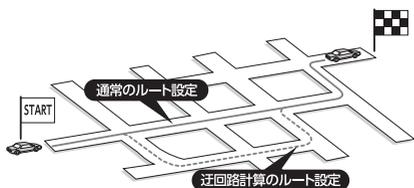
internaviルートについて詳しくは、P.63をご覧ください。

— お知らせ —

- 本機能はインターナビへの接続が必要です。インターナビについて詳しくは、「インターナビ・プレミアムクラブ編」取扱説明書をご覧ください。
- 選択できるinternaviルートタイプは変更される場合があります。

迂回ルートを再探索する

渋滞など、避けたい場所を迂回したルートを再探索できます。



1 **MENU** ▶ **ルート**

2 **迂回路探索**

3 迂回ルートを探索する、自車位置からの距離を選択



迂回するルートが再探索されます。

— お知らせ —

- 迂回ルートが見つからない場合もあります。
- internaviルートでの案内中は、この操作は行えません。

目的地・経由地を編集する

目的地・経由地設定時のご注意

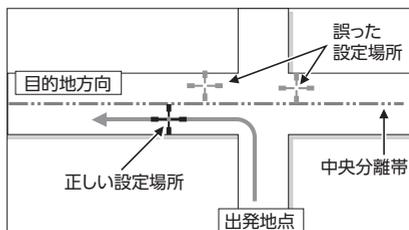
ルートの途中で寄り道をしたときなどに、ルートに経由地を設定できます。設定された順番に経由地を通り、目的地に向かうルートが計算されます。また、目的地・経由地の位置を修正することもできます。

ルートを変える際には、以下のことを考慮して目的地・経由地を設定してください。

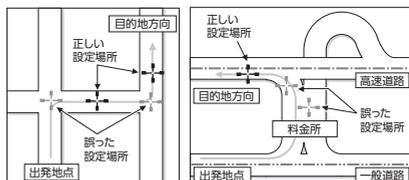
— お知らせ —

- 高速道路の本線上に目的地・経由地を設定した場合、ルートが見つからないことがあります。その場合は、目的地・経由地を本線以外へ設定し直してください。

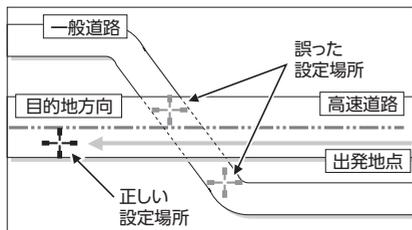
1 上下線や一方通行路に目的地・経由地を設定するときは、車線を正確に設定してください。



2 交差点やインターチェンジなどに目的地・経由地を設定しないでください。交差点やインターチェンジ付近に目的地・経由地を設定したい場合は、目的地方向に少し離れた道路上に設定してください。



- 3 高速道路と一般道路が交差している場所や、高速道路が一般道路上に高架になっている道路には、目的地・経路地を設定しないでください。

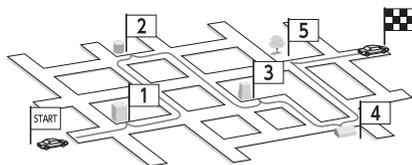


— お知らせ —

- 設定した目的地・経路地を通過しないで先に進んだ場合、通過しなかった目的地・経路地に向かって、ルートが自動的に設定されることがあります。

経路地を追加する

経路地は最大5つまで設定できます。現在設定されている目的地よりも後ろの位置に地点を追加すると、その場所が目的地として設定されます。



- MENU** ▶ ルート
- ルート編集** ▶ 行き先の追加・修正
- 経路地を追加する位置の **ここに追加**



- 地点を検索 → P.39

5 ここに決定する



位置を修正：

地図をスクロールして、検索した地点の位置調整を行う。

情報を見る：

検索した地点の施設情報を表示する。

→ P.53

ここを登録：

検索した地点を本機に登録する。

6 探索開始

経路地が追加され、新しいルートが探索されます。

目的地・経路地の位置を修正する

ルートに設定した目的地や経路地の位置を、地図をスクロールして変えられます。

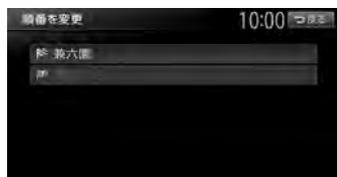
- MENU** ▶ ルート
- ルート編集** ▶ 行き先の追加・修正
- 位置を調整したい地点を選択
- 位置を修正**



- 位置を修正して **決定**
- 探索開始**
目的地、または経路地の位置が調整され、ルートが探索されます。

目的地・経由地の順番を並べ替える

- 1 **MENU** ▶ **ルート**
- 2 **ルート編集** ▶ **行き先の追加・修正**
- 3 順番を変えたい地点を選択
- 4 **順番を変更**
- 5 移動する位置を選択



- 6 **探索開始**
目的地、または経由地の順番が入れ替わり、新しいルートが探索されます。

- お知らせ —
- 地点の順番を並べ替えると、指定ICは解除されます。

目的地・経由地を消去する

- 1 **MENU** ▶ **ルート**
- 2 **ルート編集** ▶ **行き先の追加・修正**
- 3 消去したい地点を選択
- 4 **消去** ▶ **はい**
- 5 **探索開始**

選択した目的地、または経由地が消去され、新しいルートが探索されます。

- お知らせ —
- 目的地を消去した場合は、最後の経由地が目的地に変わります。

区間ごとに探索条件を設定する

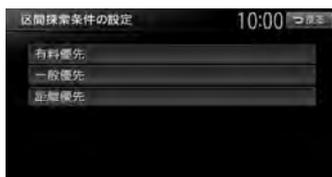
現在地～経由地～目的地間で、区間ごとに探索条件を設定できます。

- 1 **MENU** ▶ **ルート**
- 2 **ルート編集** ▶ **行き先の追加・修正**
- 3 探索条件を設定したい区間の探索条件キー選択



探索条件キー

- 4 希望の探索条件を選択 → P.62



- MEMO —
- 選択した区間の前後に指定ICがある場合は、探索条件を選択後に **はい** または **いいえ** をタッチします。

- 5 **探索開始**
選択した探索条件で、ルートが探索されます。

- お知らせ —
- 探索条件を変更して再探索を行うと、区間ごとに設定した探索条件は解除されます。
 - 「internaviルート」とそれ以外の探索条件は、1つのルート内の区間探索条件として、同時に設定できません。
また、internaviルートのルートタイプを区間ごとに設定できません。

有料道路の出入口を変更する

設定したルート上の有料道路の出入口を、リストから選択して変更できます。

- 1 MENU ▶ ルート
- 2 ルート編集 ▶ 有料区間の修正
- 3 入口を変更 または 出口を変更



入口ICを元に戻す／出口ICを元に戻す：
指定したICを解除する。

4 変更する出入口の名称を選択



「分岐・合流」を表す道路名をタッチした場合は、高速出入口リストが表示されます。同様に、変更する出入口を選択してください。



ルート探索結果画面に戻り、入口施設名称、または出口施設名称の表示が切り替わります。

5 案内開始

- お知らせ —
- internaviルートでの案内中は、この操作は行えません。

— MEMO —

- 選択した出入口がスマートICの場合は、確認画面が表示されます。「はい」をタッチすると、スマートICを考慮したルートが設定され、「いいえ」をタッチすると、選択が取り消されます。

スマートICとは

スマートICとは、高速道路のサービスエリアやパーキングエリアなどから一般道路に出入りできるETC専用のインターチェンジです。本機では、利用できるスマートICを考慮してルート探索を行います。

— お知らせ —

- スマートICは、ETCユニットを搭載した車両のみご利用できます。
- スマートICの中には、社会実験として実施されている箇所があります。そのようなスマートICでは、対象車種に制約がありますが、それを考慮したルート探索は行いません。実際の道路状況にしたがって走行してください。

設定したルートを確認する

走行する前に設定したルートを確認したり、音声を設定できます。

⚠ 注意

- 走行中にルートの確認はできません。必ず車を安全なところに停車して操作してください。

ルート上の情報を見る

ルート上の道路の種類や走行距離、通行料金、目的地への到着予想時刻などを確認できます。

1 MENU ▶ ルート

2 ルート確認・登録

3 ルート情報

ルート情報画面が表示されます。



— お知らせ —

- 現在走行中の道路の情報は表示されません。そのため、各道路の走行距離の合計と、目的地までの走行距離とは一致しません。

ルートをシミュレーション走行する

画面上で、ルートを走行する様子をシミュレーションして確認できます。

1 MENU ▶ ルート

2 ルート確認・登録

3 ルートシミュレーション

ルートシミュレーションが開始されます。



シミュレーション中は、以下のキーを操作できます。

▶ : ルートシミュレーションを再生する。

⏸ : ルートシミュレーションを一時停止する。

◻ : ルートシミュレーションを中止する。

詳細 / 広域 :

地図の縮尺を変更する。

— お知らせ —

- ルートシミュレーション中に、以下の操作を行うと、シミュレーションは停止します。
 - ハードボタンの操作
 - 電話を着信
 - カメラ画面を表示
 - 走行を開始
- ルート探索結果画面から **ルートの確認・登録** をタッチした場合は、ルートシミュレーションは操作できません。

現在のルートを登録する

現在のルートを本機に登録します。(最大5件)

— お知らせ —

- 本機能は、探索されたルート自体を登録するものではなく、経由地・目的地・区間探索条件の組み合わせをセットで登録します。そのため、登録ルートと呼び出したときに実際に案内されるルートは、ルート登録したときのルートとは異なる場合があります。

1 MENU ▶ ルート

2 ルート確認・登録

3 現在のルートを登録 ▶ はい

ルート上の地図をスクロールする

地図をスクロールしてルートを確認します。

- 1 **MENU** ▶ **ルート**
- 2 **ルート確認・登録**
- 3 **地図スクロール**

カーソルの位置を中心に、全画面地図が表示されます。

ルート案内の音量を確認・設定する

ルート案内時の音量や、音声出力のON/OFFを切り替えられます。

- 1 **MENU** ▶ **ルート**
- 2 **音声案内・探索設定**
- 3 **案内音量**
- 4 **+ -** で音量を調整



通常走行時と高速走行時とに分けて設定できます。

- MEMO —
- この設定は、「案内音量」と連動しています。
→ P.139

ルート案内時の音声出力を切り替える

音声案内などのナビゲーション音声を出力するかどうかを選択できます。

- 1 **MENU** ▶ **ルート**
- 2 **音声案内・探索設定**
- 3 **案内・メッセージ音声**

- MEMO —
- この設定は、「案内・メッセージ音声」と連動しています。→ P.139

ルート案内を中止する

- 1 **MENU** ▶ **ルート**
- 2 **案内中断**

- MEMO —
- ルート案内を再開したい場合は、**MENU** ▶ **ルート** ▶ **案内再開** をタッチしてください。

ルートを消去する

- 1 **MENU** ▶ **ルート**
- 2 **ルート消去** ▶ **はい**

ルートが消去され、ルート案内が中止されます。

ルート案内中の地図画面

ルート案内中は、地図上に渋滞情報や案内地点、案内ルートなどの情報が表示されます。

警告

- 安全のため、運転者は走行中に操作しない
前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。
- 実際の交通規制にしたがって走行する
ナビゲーションによるルート計算では、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制にしたがって走行してください。



1 目的地情報キー

自転車位置から目的地までのルート距離と到着予想時間^{※1}が表示されます。ルートを外れて走行している場合は、目的地までの直線距離が表示されます。タッチすると目的地周辺の地図が表示されます。目的地の位置が正確でない場合は微調整ができます。

2 音声案内地点

音声で案内される地点です。
通常道路・細街路での右左折を案内します。

3 目的地方向表示

目的地までの方向を直線で示しています。目的地方向表示は「目的地方向表示」で表示／非表示を切り替えられます。→ P.38

4 誘導ルート

目的地までの走行道路です。
経路色：黄色（一般道路）、黄緑色（有料道路）、暗い黄色（細街路）

5 軌跡

車が走行した軌跡を軌跡マークで表示します。軌跡マークは「軌跡の表示」で表示／非表示を切り替えられます。→ P.139

※1 「自動計算」が「OFF」の場合、到着予想時刻は「到着予想時刻の速度設定」で定めた平均速度で計算されます。
→ P.141
渋滞情報は考慮されません。

ルート案内中の案内表示

交差点手前で出る案内表示

交差点や都市高速道路入口の約300m手前で、交差点が拡大して表示されます。交差点の直前では、レーンの進行方向を示すレーンガイドが表示されます。交差点名とともに、進入すべきレーンが黄色で表示されます。

— MEMO —

- 一部の交差点では、実際の景色に似たイラストが表示されます。

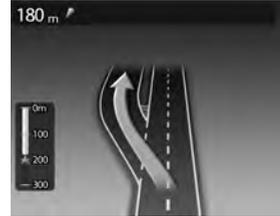
都市高速道路の手前^{※1}



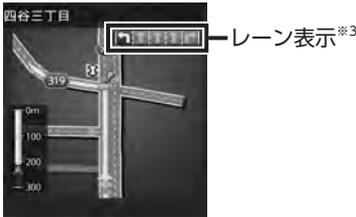
複雑交差点の手前



側道分岐点の手前^{※2}



交差点の手前



※1 「高速入口の画像表示」がONの場合に表示されます。→ P.139

※2 表示される拡大図はイメージです。実際の道路とは車線数や分岐形状などが異なる場合があります。

※3 交差点の直前では、レーンの進行方向を示すレーンガイドが表示されます。交差点名とともに、進入すべきレーンが黄色で表示されます。

高速道路での案内表示

都市高速道路の入口^{※1}



入口の名称と通行車線が表示されます。

都市高速道路の出口^{※2}



出口の名称と通行車線が表示されます。

ルート案内中の案内表示

高速道路の分岐点^{※2}



分岐点名、分岐点までの距離、通行車線が表示されます。

高速道路走行中



高速道路内の情報や到着予想時刻、料金が表示されます。

※1 「高速入口の画像表示」がONの場合に表示されます。→ P.139

※2 「高速分岐の画像表示」がONの場合に表示されます。→ P.139

■ デフォルメ図



以下の分岐点の手前では、道路形状をデフォルメ化した拡大図が表示されます。

- 側道分岐点
 - 高速道路・有料道路の3分岐以内の分岐点
 - 画像がない場合の高速道路の分岐点
- デフォルメ図には、通行車線が表示されます。

※表示される拡大図はイメージです。実際の道路とは車線数や分岐形状などが異なる場合があります。

ETCレーンガイドでの案内表示

本機と連動する別売のETCが接続状態であり、さらにETCカードが挿入されているとき「黄色矢印」がETCレーン側に表示されます。それ以外の場合は、矢印が一般側に表示されます。

	ETC利用不可時	ETC利用可能時 [※]
料金所付近		
ハイウェイモード		
拡大図		

※ETC接続中で、ETCカードが挿入されているとき

— お知らせ —

- ETCレーンの整備上実際のレーンと異なる場合があります。実際のレーン状況を確認のうえ走行・通過してください。

細街路での表示

出発ポイントや目的地周辺の道幅が5.5m以下の細街路でも、目的地までルート案内されます。

⚠ 警告

- 出発地、目的地周辺では細街路や地図データ上の幅3.3～5.5mの一般道路が暗い黄色の線でルート表示されます。また、これらのルートは交通規制（一方通行や右左折禁止など）の情報がない道路が含まれます。必ず実際の交通規制や道路標識などにしたがって走行してください。



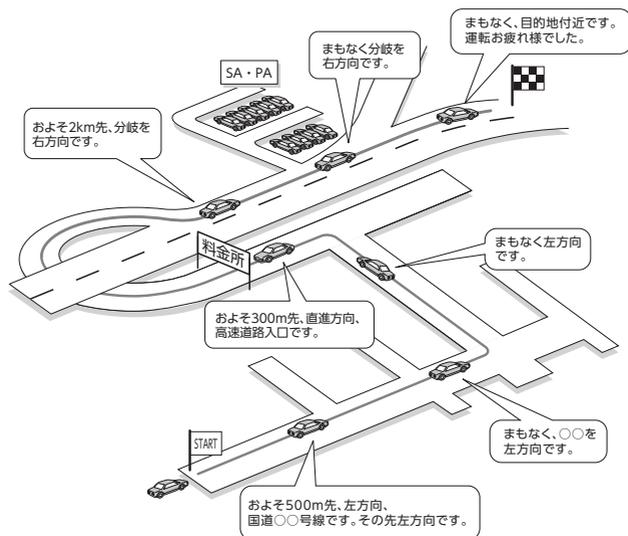
— お知らせ —

- 200mおよび100mスケールで停止中、細街路走行中は細街路を表示します。200mスケールで表示されるのは一部の細街路のみです。50mスケールでは、細街路以外の道路走行中も細街路が表示されます。走行中に地図をスクロールしているときは、細街路は表示されません。

ルート案内中の音声案内

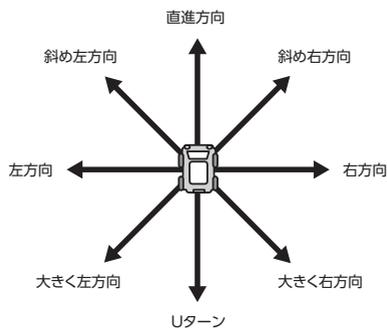
案内地点が近づくと、音声で案内されます。

運転中の音声案内例



進行方向の案内について

進行方向の音声案内は、8方向で案内されます。



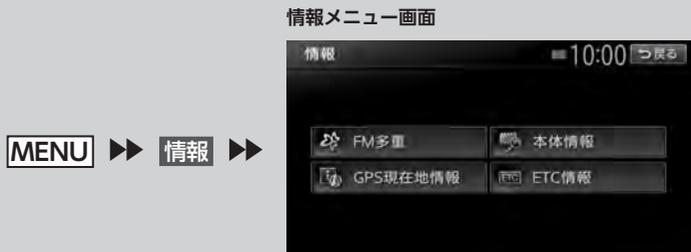
情報を利用する

FM VICS情報など、さまざまな交通情報を受信してドライブに役立てられます。ETC履歴の情報などもご活用ください。

情報メニュー画面を表示する	78	料金案内	81
VICS情報を利用する	78	ETCカード挿入／排出時の案内	81
VICSとは	78	セットアップ時の案内	81
交通情報の表示について	78	最新の利用履歴を読み上げる	81
地図上に表示されるVICS情報（レベル3）	79	ETCカードの有効期限を表示する	81
FM多重のVICS情報を利用する	80	ETC情報の履歴を見る	81
FM多重 VICS情報を見る	80	ETCの車載器情報を表示する	82
ETC情報を利用する	80	ETC料金を割り勘にする	82
ETC情報とは	80	ETCの設定をする	82
ETC情報の画面表示と案内	80	その他の情報を利用する	83
ゲート通過可否の案内	80	ラジオの交通情報を受信する	83
予告案内	80	GPSから現在地の情報を取得する	83
警告表示	80	本機の情報を見る	83

情報メニュー画面を表示する

情報メニュー画面では、FM VICS情報を受信して、交通情報などを見られます。また、本機の情報やETC履歴などの情報も見られます。



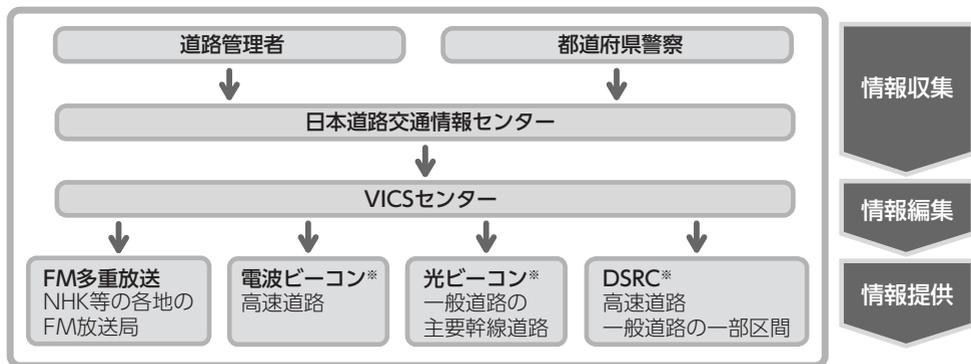
※走行中はタッチできる項目が限定されます。

VICS情報を利用する

VICSとは

VICS (Vehicle Information and Communication System) とは、渋滞や事故などの影響による規制情報や、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。

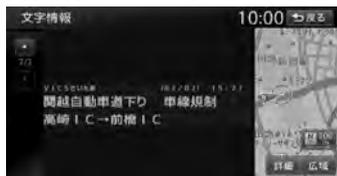
■ VICS情報の流れ



※本機では受信できません。

交通情報の表示について

文字表示 (レベル1)



簡易図形表示 (レベル2)



地図表示 (レベル3)



地図上に表示されるVICIS情報 (レベル3)

VICIS情報を受信すると自動的に地図上に表示され、内容が更新されるごとに情報が書き換わります。また、ルート情報リストでも、渋滞情報を色で確認できます。→ P.142
 ルート上に渋滞・規制情報が存在する場合は、それぞれについて音声案内を行います。



受信マーク表示

VICIS情報が提供された時刻を表示します。
 ※受信した時刻ではありません。
 ※メンテナンス等で休止している時間以外は、24時間VICIS情報を提供しています。

VICISアイコン表示 (1km以下のスケールで表示)

以下の情報をアイコンで表示します。→ P.216

交通障害情報：

事故、故障車、路上障害物、工事、作業など

交通規制情報：

通行止め、速度規制、車線規制などの臨時規制

駐車場情報：

駐車場、SA/PAの満車・空車情報

「地図上のVICIS表示設定」で表示／非表示を設定できます。→ P.142

カーソルをVICIS情報のランドマークに合わせると、VICISアイコン情報が表示されます。(2D地図のみ)

東池袋 事故 接触事故
 車線規制
 3月18日 13時36分 ~

VICISアイコン情報は、「スクロール地点情報表示」で表示／非表示を設定できます。→ P.144

渋滞情報を線で表示

(1km以下のスケールで表示)

赤色 : 渋滞
 オレンジ色 : 混雑
 黄色 : 規制
 水色 : 順調

200m以下のスケールでは、渋滞の方向を示す矢印も表示されます。
 「地図上のVICIS表示設定」で表示／非表示を設定できます。→ P.142



警告

- 安全のため、運転者は走行中に操作しない
 前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。

FM多重のVICS情報を利用する

本機は、内蔵のFM多重受信機でFM文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示します。渋滞情報、所要時間、事故情報、道路工事情報などが数分ごとに更新されます。

緊急情報以外のレベル1情報、およびレベル2情報は、受信しても自動的に表示されません。手動で情報を選択し、表示させてください。レベル3情報を受信すると、自動的に地図画面上に表示されます。

- お願い —
- 表示されるFM VICS情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。
- お知らせ —
- 地図の大きさを詳細に変えているときは、各FM VICS情報が表示されない場合があります。
- MEMO —
- FM VICS情報が更新されていない場合は、更新前に受信した情報が表示されます。
- FM多重放送の受信地域は変更できます。→ P.142

FM多重 VICS情報を見る

1 **MENU** ▶ **情報** ▶ **FM多重**

2 見たい情報を選択

図形情報：
渋滞情報を図形表示で確認する。

文字情報：
渋滞情報などを表示する。
※地域によっては、情報が発信されない場合があります。

所要時間：
各地への所要時間を表示する。

緊急情報：
FM VICS情報から受信した緊急情報を表示する。

3 見たい項目の番号を選択

FM VICS情報が表示されます。

ETC情報を利用する

ETC情報とは

ETC情報とは、ETCの料金情報や予告案内、警告情報などです。本機と連動する別売のETCユニットを接続すると表示されます。料金所ゲートを通過するときに、ETC情報を受信し、画面表示と音声で案内されます。

準備

- 料金情報の案内や履歴の表示を行うには、ETCユニットにETCカードをセットします。ETCユニットについて詳しくは、ETCユニット付属の取扱説明書をご覧ください。
- お知らせ —
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。
- MEMO —
- ETCの車載器管理番号などを表示させることもできます。→ P.82

ETC情報の画面表示と案内

ゲート通過可否の案内

- 「ETCがご利用可能です」
- 「ETCがご利用できません」

予告案内

料金所に予告アンテナ／ETCカード未挿入お知らせアンテナが設置されている場合のみ案内されます。

- 「ETCがご利用できません」
- 「ETCがご利用可能です」
- 「ETCカードを確認してください」

警告表示

- 「ETCカードを確認してください。」
ETCカードが故障しているときや、ETCカードでないときに表示されます。
- 「ETCに異常が検出されました。販売店に連絡してください」
ETCユニットの異常により、本機との接続ができないときに表示されます。
- 「ETCカードが挿入されていません」
ETCカードの入れ忘れ警告を「ON」に設定した場合、本機起動時に表示されます。→ P.82

●「ETCカードの有効期限が切れています。ETCがご利用できません」

ETCカードの有効期限が切れているとき、起動時とETCカード挿入時に表示されます。

●「ETCカードを確認しました。ETCカードの有効期限は、XXXX年XX月です」

ETCカードの有効期限月の2ヶ月前から有効期限まで、起動時とETCカード挿入時に案内されます。

例：カード有効期限が2014年3月の場合、警告の開始は2014年1月1日からになります。

●「ETCカードの有効期限が読み取れませんでした」

ETCカードから有効期限データが読み出せなかった場合に表示されます。

料金案内

ETCユニットからの料金情報を受信すると、料金案内が表示されます。表示内容はナビゲーション画面、オーディオ画面とも同様です。ETCゲート通過時に料金が徴収された場合、または料金の払い戻しがあった場合に案内されます。

- ETCがご利用可能です。支払い料金はxxxx円です
- ETCがご利用可能です。払い戻し金額はxxxx円です

ETCカード挿入／排出時の案内

●「ETCカードを確認しました」

ETCカードを挿入して正常に認証されたときに案内されます。

●「ETCカードの有効期限にご注意ください」

カード有効期限案内に対応していないETCユニットを接続している場合に、起動時とETCカード挿入時に案内されます。

●「ETCカードが取り出されました」

ETCカードを排出したときに案内されます。

●「ETCカードを挿入してください」

ETCカード未挿入で「利用履歴」「最新利用日履歴」「精算」をタッチしたときに案内されます。

セットアップ時の案内

●「ETCユニットがセットアップされていません」
ETCユニット本体がセットアップされていないときに表示されます。

●「ETCユニットのセットアップは行われませんでした」

ETCユニットのセットアップが正常に行われなかったときに表示されます。

●「ETCユニットのセットアップが終了しました」
ETCユニットのセットアップが正常に終了したときに表示されます。

最新の利用履歴を読み上げる

1 **MENU** ▶ **情報** ▶ **ETC情報**

2 **最新利用履歴の読上げ**

最後に課金されたETCの金額が音声で案内されます。

ETCカードの有効期限を表示する

1 **MENU** ▶ **情報** ▶ **ETC情報**

2 **カード情報**

ETCカードの有効期限（年、月）が表示されます。

ETC情報の履歴を見る

1 **MENU** ▶ **情報** ▶ **ETC情報**

2 **利用履歴** または **最新利用日履歴**

ETCカードが差し込まれている場合にETC情報が表示されます。

利用履歴：

最新の履歴より、最大100件のETC情報を表示する。

最新利用日履歴：

最新日に利用したETC情報のみ表示する。

ETC情報を利用する

— MEMO —

- ・履歴読み出しが正常に行われなかった場合、「すべての情報を取得できませんでした。一部の情報が表示できません」と表示されることがあります。
- ・一度も使用したことのない新しいカードの場合は、「情報がありません」と表示されます。

ETCの車載器情報を表示する

1 **MENU** ▶ **情報** ▶ **ETC情報**

2 **車載器情報**

車載器管理番号、型式登録番号、車載器型式が表示されます。

ETC料金を割り勘にする

ETC情報の履歴の中から履歴を指定して、希望の人数で割った金額を算出できます。また、駐車料金などの調整金額を含めて算出することもできます。

1 **MENU** ▶ **情報** ▶ **ETC情報**

2 **精算**

3 **精算したい履歴を選択** ▶ **決定**

日+：

精算する履歴を、1日分ずつさかのぼって追加する。

日-：

精算する履歴を、1日分ずつ解除する。

4 **+** または **-** で人数を調整

1人あたりの支払い金額が表示されます。

5 ETC以外にかかった料金がある場合は、**駐車料金などを入力**

6 **金額を入力** ▶ **決定**

1人あたりの支払い金額が表示されます。

— お知らせ —

- ・計算可能な金額は100万円未満です。100万円以上になると「料金計算の範囲を超えています」と表示されます。

— MEMO —

- ・ETC履歴のICランプ情報が不明の場合、または料金所が新規追加され情報が不足している場合は、「情報なし」と表示されます。

ETCの設定をする

別売のETCユニット接続時の設定です。

1 **MENU** ▶ **情報** ▶ **ETC情報**

2 **ETC設定**



カード挿入アイコン表示：

地図上にETCアイコンの情報を表示させるかどうかを選択する。(初期値：ON)

本体ブザー音：

ブザータイプのETCユニットのブザー音を鳴らすかどうかを設定する。(初期値：ON)

音声案内：

本機からの音声案内を出力させるかどうかを選択する。(初期値：ON)

カード入れ忘れ警告：

ETCカードを入れ忘れたときに警告させるかどうかを選択する。(初期値：ON)

カード有効期限内：

ETCカードの有効期限が近い場合と期限切れの場合に、カード挿入時に画面表示と音声で通知させるかどうかを選択する。(初期値：ON)

表示割り込み時間：

ETCに関する情報を、画面に割り込み表示させる時間を設定する。(初期値：5秒)

— お知らせ —

- ・ETCユニットが「有効期限通知機能」に対応していないモデルでは、ETCカードの有効期限に関する警告は表示されません。

その他の情報を利用する

ラジオの交通情報を受信する

1 ソース選択画面で **交通情報**

交通情報を受信します。



1620kHz/1629kHz :
周波数を切り替える。

解除 :

交通情報を聞く前に視聴していたオーディオソースに戻る。

GPSから現在地の情報を取得する

1 **MENU** ▶ **情報**

2 **GPS現在地情報**

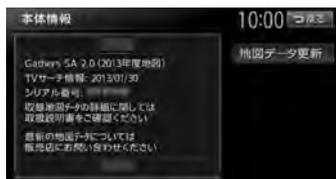
GPSの測位状態、自車位置の緯度・経度、測位衛星・待機衛星の数が表示されます。



本機の情報を見る

1 **MENU** ▶ **情報** ▶ **本体情報**

本体情報画面には、TV サーチ情報データの最終更新日、シリアル番号、地図のバージョン情報が表示されます。



通信機能を利用する

本機に携帯電話などのBluetooth対応機器を接続すると、ハンズフリーで電話をかけられます。

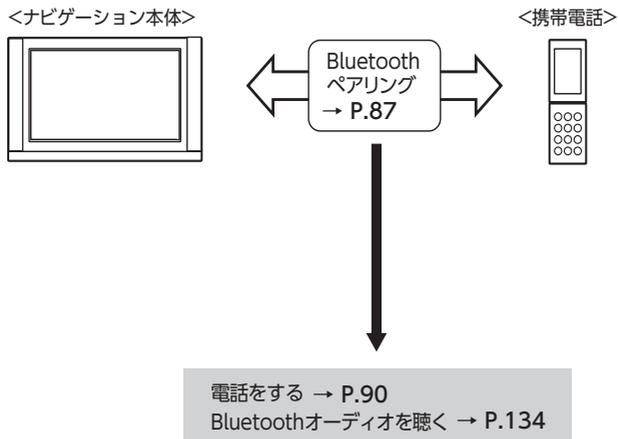
通信を利用してできること	85	電話帳から電話をかける	93
Bluetooth対応機器を登録する	86	電話帳のデータを消去する	93
Bluetooth（ブルートゥース）とは	86	施設情報から電話をかける	93
Bluetoothハンズフリーの		短縮ダイヤルを登録する	93
マルチポイント接続でできること	86	短縮ダイヤルから電話をかける	94
Bluetooth機器の取り扱いについて	87	短縮ダイヤルの編集をする	94
Bluetooth対応機器を登録する（ペアリング）	87	短縮ダイヤルを消去する	94
接続するBluetooth対応機器を切り替える	88	電話を受ける	95
登録したBluetooth対応機器を消去する	89	電話の設定をする	95
携帯電話を利用する	90	通話音量と着信音の設定をする	95
通話中の画面	90	Bluetooth機能のON/OFFを切り替える	95
番号を入力して電話をかける	91	パスキー・デバイス名称を変更する	96
発着信履歴からかける	91	電話のメモリをすべて消去する	96
発着信履歴を消去する	91	Siri Eyes Free機能を使う	96
電話帳を登録する	92	表示画面を切り替える	97

通信を利用してできること

Bluetooth対応携帯電話を利用すると、ハンズフリーで通話するなど、便利な機能を利用できます。

準備

- 以下の設定を行います。
 - ・ 携帯電話を本機に登録（ペアリング） → P.87



Bluetooth対応機器を登録する

準備

- 本機のBluetooth機能をONにします。
→ P.95

携帯電話などのBluetooth対応機器を登録して、本機から電話の発信やオーディオを再生できます。

Bluetooth対応携帯電話を用いるとケーブルを接続することなく、Bluetoothを利用したハンズフリー機能を使用できます。

この操作は、電話メニュー画面およびBluetooth設定画面から行います。

Bluetooth対応携帯電話の対応機種や設定方法については、以下のインターナビのホームページをご覧ください。

<http://www.honda.co.jp/internavi/>

MENU ▶▶ 電話 ▶▶

電話メニュー画面



MENU ▶▶ 設定 ▶▶

Bluetooth ▶▶

Bluetooth設定画面



※走行中はタッチできる項目が限定されます。

Bluetooth (ブルートゥース) とは

Bluetoothとは、産業団体Bluetooth SIGにより提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz帯の電波を利用してBluetooth対応機器どうしで通信を行います。本機では、Bluetoothに対応した携帯電話およびオーディオ機器を接続して利用できます。Bluetooth対応機器を利用するには、本機に登録（ペアリング）する必要があります。→ P.87

本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。

ハンズフリー通話

HFP (Hands-Free Profile : ハンズフリーストリープロファイル)

電話帳転送

OPP (Object Push Profile : オブジェクトプッシュプロファイル)

電話帳転送および通話履歴等の同期

PBAP (Phone Book Access Profile : フォーンブックアクセスプロファイル)

オーディオ

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile : 高度オーディオ配信プロファイル)、AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile : オーディオ/ビデオリモート制御プロファイル)

※Bluetoothプロファイルに対応している機器であっても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、表示や動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

Bluetoothハンズフリーのマルチポイント接続でできること

従来、1台まで使用可能だったBluetooth接続の携帯電話を以下のように使用できます。

- 携帯電話2台を待ち受けとして使用可能

※携帯電話2台を使用した同時通話は、不可（2台を待ち受けとした場合は、先に発信した側のみで通話が可能）

— MEMO —

- 本機では、Bluetooth対応携帯電話（ハンズフリー）とBluetoothオーディオ機器を同時に使用できます。ただし、音声についてはハンズフリーを優先します。
- 携帯電話およびオーディオ機器は、Bluetooth方式に対応しているものを使用してください。ただし、携帯電話、オーディオ機器の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- Bluetooth対応機器の収納場所、本機との距離によっては、接続できない場合があります。本機とBluetooth対応機器との間に障害物がないようにして、ご使用ください。
- Bluetooth対応機器について詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。

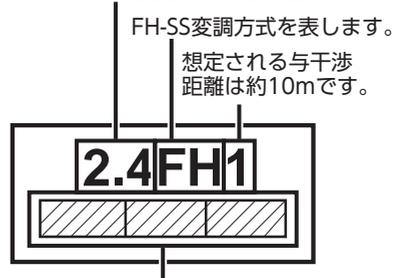
Bluetooth機器の 取り扱いについて

Bluetooth機器を使用される前にお読みください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機能を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局および、特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を移動するか、または電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お買い求めのHonda販売店、または（株）ホンダアクセスお客様相談室までご連絡ください。

2.4GHz帯を使用する無線機器です。



全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域は回避不可です。

Bluetooth対応機器を登録する (ペアリング)

はじめてBluetooth対応機器を利用するときは、本機に登録（ペアリング）してください。

— お知らせ —

- 走行中はペアリングを実行できません。
- あらかじめ機器側でもBluetooth機能をONに設定しないと、ペアリングできない場合があります。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

1 **MENU** ▶ **設定** ▶ **Bluetooth**

2 **機器登録**

3 **各項目を選択**

登録機器の選択：

ペアリングするBluetooth対応機器が携帯電話か、オーディオ機器かを選択する。

登録後の機器使用確認：

ペアリングしたBluetooth対応機器を使用するかどうかを選択する。

4 **決定**

5 Bluetooth対応機器から「Gathers」(初期値)を選択し、パスキー「1212」(初期値)を入力

— MEMO —

- Bluetooth対応機器の機種によっては、パスキー入力は不要です。また、機種によっては、本機に入力したパスキーが機器側のパスキーと同一か、確認する画面が表示されます。登録を行う場合は、画面にしたがって操作してください。
- 携帯電話以外のBluetoothオーディオ機器を登録する場合は、「オーディオ機器」を選択後、**決定** をタッチしてからパスキー「例：1212」を入力してください。

Bluetooth対応機器から本機の探索を行い、ペアリングが完了します。

— お知らせ —

- ペアリング完了後、携帯機器の設定画面の「Bluetoothで接続」がONに切り替わります。Bluetooth機能を使用する際は、本設定がONであることを確認してください。
- ハンズフリー中（発信、着信、通話）は、ほかのBluetooth対応機器の接続（通話、通信）やペアリングはできません。また、ハンズフリー中は、オーディオ音声は出力されません。
- Bluetooth対応機器は、5台までペアリングできます。6台目をペアリングするには、すでに登録されたBluetooth対応機器の情報を消去してください。→ P.89
- すでに携帯電話を接続した状態でペアリングを行った場合は、接続を解除し、最後にペアリングした携帯電話と接続します。
- Bluetooth対応機器が「接続待機中」設定時や待ち受け状態のときは、自動的に接続されません。上記以外の場合は、自動的に接続されないことがあります。詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。

— MEMO —

- ペアリング完了後、Bluetooth対応機器上で接続確認の操作が必要な場合があります。
- ペアリング完了後、携帯電話上で接続するプロファイルの選択が必要な場合は、「ハンズフリー」を選択してください。また、同時にオーディオプレーヤーを使用する場合は、「オーディオ」も選択してください。
- Bluetooth対応機器側の操作について詳しくは、機器の取扱説明書をご覧ください。

- 本機のBluetooth対応機器の受信感度、電池残量の表示は、接続する機器によっては、数値が一致しない場合があります。
- デバイス名、パスキーは変更可能です。
- Bluetooth対応機器と距離が離れているなど、何らかの理由で接続が切断された場合に、自動的に再接続を試みます。
- Bluetooth対応機器を再起動した場合、機器の種類によって、自動的に接続されない場合があります。自動接続されない場合はBluetooth設定画面の **接続機器の選択** をタッチしてリストから接続したいBluetooth対応機器を選択してください。→ P.88

接続するBluetooth対応機器を切り替える

本機に複数のBluetooth対応機器が登録されている場合に、接続する機器を切り替えられます。

— お知らせ —

- Bluetooth対応機器は、5台までペアリング可能ですが、接続できるのは2台までです。

- MENU** ▶ **設定** ▶ **Bluetooth**
- 接続機器の選択**
- 接続機器1** または **接続機器2**

接続機器1：

メインのBluetooth対応機器を指定する。
ハンズフリー電話として利用します。

接続機器2：

サブのBluetooth対応機器を指定する。
ハンズフリー電話、またはBluetoothオーディオとして利用します。

オーディオ再生：

携帯電話以外のBluetoothオーディオ機器を使用する場合にタッチする。
接続機器を選択してください。

— MEMO —

- Bluetoothオーディオ機器の接続を解除する場合は、**オーディオ接続しない** をタッチします。
- オーディオ接続しない** を選択した場合は、オーディオ機器から接続操作を行っても接続できません。

4 切り替える機器を選択

5 決定

— MEMO —

- 現在使用中の携帯電話の切り替えを行うと、短縮ダイヤル・発着信履歴などの機器情報も選択した機器の情報に切り替わります。

登録したBluetooth対応機器を 消去する

ペアリング済みのBluetooth対応機器の情報を消去します。

1 MENU ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 機器の消去

3 消去したい機器を選択

4 消去する

5 はい

— お知らせ —

- 携帯電話の登録情報を消去すると、該当する携帯電話の発着信履歴、短縮ダイヤル、電話帳情報も消去されます。
- Bluetooth対応機器の登録情報を消去している最中に本機の電源を切ると、消去できない場合があります。その場合は電源を入れ、再度消去の操作を行ってください。

携帯電話を利用する

— お願い —

- 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

— MEMO —

- 同時に2台の携帯電話を接続しているときは、電話メニュー画面に表示されている機器名称をタッチして、使用する電話を切り替えられます。→ P.86

通話中の画面

通話中は、以下のような画面が表示されます。

通話中画面



通話を終了します。

携帯電話本体での通話に切り替わります。ご使用の携帯電話によっては、プライベート動作にならない場合があります。

送話音声ミュート状態になります。

番号入力画面が表示され、通話中にパスワードなどの数字を入力できます。

通話中に **現在地** を押すと、以下のような画面になります。この画面のまま、目的地検索などの操作も行えます。

通話中地図画面



携帯電話の受信感度が表示されます。

携帯電話本体での通話に切り替わります。

電話を切り現在地が表示されます。

電話コントロールバーの表示/非表示を切り替えます。

通話時間、相手先の名前、または電話番号が表示されます。

— お知らせ —

- 携帯電話の機種によっては、通話中に第三者から着信があった場合は、自動的に着信を拒否します。その際の着信履歴は保存されません。
- 通話中に車が携帯電話のサービス圏外（電波が届かないところ）に移動したときは回線が切れます。
- ハンズフリーで通話中は、オーディオソースの選択切り替えができません。
- 携帯電話が待ち受け状態でないと、発着信できない場合があります。

番号を入力して電話をかける

⚠ 注意

- 走行中は、電話番号を入力して電話をかけることはできません。必ず車を安全な場所に停車させてから行ってください。

MEMO

- 携帯電話によっては、ダイヤル発信後、発信中の電話を切った場合、すぐに再発信できないことがあります。しばらくしてから、ダイヤル発信を行ってください。

1 MENU ▶ 電話

2 ダイヤル入力

3 電話番号を市外局番から入力

4 電話をかける

電話番号が発信され、相手呼び出します。



電話を切る：

呼び出し中にタッチして、電話を切る。

5 通話を終了する場合は 電話を切る



電話を切り、電話をかける前の画面に戻ります。

発信した電話番号、名称（電話帳に登録されている場合）、発信日時が発信履歴として保存されます。同一電話番号の場合、最新の履歴のみが表示されます。

発信履歴からかける

1 MENU ▶ 電話

2 発信履歴

3 着信履歴 または 発信履歴

4 ダイヤルしたい相手先を選択



着信履歴／発信履歴：

リストに表示する履歴を切り替える。

5 電話をかける

登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

— お知らせ —

- 非通知着信時の着信履歴からは電話をかけられません。

MEMO

- 発信の履歴は、本機に記録された最新の5件が表示されます。
- 同一電話番号を異なる名称で短縮ダイヤルと電話帳に登録している場合、短縮ダイヤルの情報を優先して履歴を表示します。
- 短縮ダイヤル、または、電話帳に登録されている電話番号の場合、登録している名称を表示します。

発信履歴を消去する

1 MENU ▶ 設定

2 電話 ▶ メモリ消去

3 発信履歴

4 消去する方法を選択



一括消去：

すべての発着信履歴を消去する。

履歴ごとに消去：

すべての発着信履歴から選択して消去する。

1件消去：

選択した1件の発着信履歴を消去する。発着信履歴リストから消去したい履歴を選択し、**消去する** をタッチしてください。

5 はい

選択した履歴が消去されます。

電話帳を登録する

あらかじめ携帯電話の電話帳を本機に登録しておき、本機から電話をかけられます。

携帯電話の電話帳は、携帯電話側の電話帳転送機能を使用して登録します。携帯電話によっては、電話帳を転送できないものがあります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

— MEMO —

- 電話帳を転送後、携帯電話の接続が切断される場合があります。その場合は、再度、電話機選択画面から接続したい携帯電話を選択してください。

1 MENU ▶ 設定

2 電話 ▶ ハンズフリー電話帳

3 携帯メモリー一括ダウンロード または 携帯メモリー追加ダウンロード ▶ はい

電話帳転送の待ち受け画面になります。

携帯メモリー一括ダウンロード：

Bluetooth対応携帯電話から電話帳データを送信し、本機の電話帳データに上書き保存する。

前回ダウンロードしたデータは上書きされるため、利用できなくなります。

携帯メモリー追加ダウンロード：

Bluetooth対応携帯電話から電話帳データを送信し、本機の電話帳データに追加保存する。

前回ダウンロードしたデータは上書きされずに利用可能です。

ダウンロード済みリスト：

転送後の電話帳のリスト画面を表示する。登録された電話番号は短縮ダイヤルへ登録、または消去できます。→ P.93

4 携帯電話から電話帳転送

電話機選択画面で現在選択されている携帯電話の電話帳が本機に転送されます。

追加ダウンロード完了時には、**キャンセル** をタッチして登録作業を終了してください。

— お知らせ —

- 電話帳の転送は、同一の電話番号でも常に追加で登録され上書きされません。必要に応じて電話番号を消去してください。

— MEMO —

- 登録可能な電話帳データは、携帯電話1台あたり1000件です。
- 電話帳の1つの名称に対して、最大5件の電話番号を表示できます。
- 電話番号リストに表示されるアイコンには以下の種類があります。
 (携帯電話) / (一般電話) / (自宅) / (会社) / (その他)
- 転送した電話帳の表示順序は、携帯電話で表示される順序とは異なります。読みがなで並べ替えるので、ダイヤルの際は発信する相手の電話番号をご確認ください。

電話帳から電話をかける

1 **MENU** ▶ **電話**2 **ハンズフリー電話帳**3 **名前を選択**4 **電話番号を選択**5 **電話をかける**

登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

MEMO

- 電話帳を登録する方法は、「電話帳を登録する」をご覧ください。→ P.92

電話帳のデータを消去する

1 **MENU** ▶ **設定**2 **電話** ▶ **メモリ消去**3 **ハンズフリー電話帳**4 **消去する方法を選択**

一括消去：

電話帳データを一括消去する。

1件消去：

選択した1件の電話帳データを消去する。
電話帳リストから消去したいデータを選択し、**消去する** をタッチしてください。

5 **はい**

選択した電話帳データが消去されます。

施設情報から電話をかける

施設情報画面に「電話をかける」が表示されている場合、Bluetooth対応携帯電話を接続すると画面から電話をかけられます。

1 **電話をかける**

登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

短縮ダイヤルを登録する

本機に短縮ダイヤルを登録すれば、簡単に電話をかけられます。

1 **MENU** ▶ **設定**2 **電話** ▶ **短縮ダイヤル登録・編集**3 **新規登録**4 **登録する方法を選択**

発信履歴から登録：

発信履歴リストから登録したい電話番号を選択する。

ハンズフリー電話帳から登録：

電話帳から登録したい電話番号を選択する。

入力して登録：

登録したい電話番号を直接入力する。

入力後は、**決定** をタッチしてください。

5 登録情報を確認



短縮ダイヤルの登録番号、名称、電話番号、アイコンの種類は編集できます。それぞれの項目をタッチし、希望の設定値を入力してください。短縮ダイヤル登録後に編集することもできます。

6 決定

短縮ダイヤルが登録されます。

— MEMO —

- 短縮ダイヤルの最大登録件数は携帯電話1台につき5件です。

短縮ダイヤルから電話をかける

1 MENU ▶ 電話

2 短縮ダイヤル

3 ダイヤルしたい相手先を選択

4 電話をかける

登録されている短縮ダイヤルが発信され、電話がかかります。

短縮ダイヤルの編集をする

登録済みの短縮ダイヤルの編集をします。

1 MENU ▶ 設定

2 電話 ▶ 短縮ダイヤル登録・編集

3 編集したい短縮ダイヤルを選択

4 編集する

編集したい項目を選択し、希望の設定値を入力してください。

5 決定

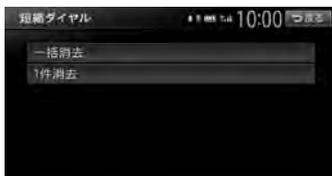
短縮ダイヤルを消去する

1 MENU ▶ 設定

2 電話 ▶ メモリ消去

3 短縮ダイヤル

4 消去する方法を選択



一括消去：

すべての短縮ダイヤルを消去する。

1件消去：

選択した1件の短縮ダイヤルを消去する。短縮ダイヤルリストから消去したい短縮ダイヤルを選択し、**消去する** をタッチしてください。

5 はい

選択した短縮ダイヤルが消去されます。

電話を受ける

本機に接続した携帯電話が着信すると、着信画面が表示されます。

⚠ 注意

- 走行中に電話を受けるときは、必ず周りの安全を十分に確認してください。

1 電話がかかってきたら 電話に出る



着信拒否する：

着信中にタッチして着信を拒否する。

保留する：

応答を保留する。

通話を終了したい場合は、「電話を切る」をタッチします。電話を切り、着信直前の画面に戻ります。

着信した電話番号、名称（短縮ダイヤル、電話帳に登録されている場合）、着信日時が着信履歴として保存されます。

電話の設定をする

通話音量と着信音の設定をする

1 [MENU] ▶ 設定

2 電話 ▶ 音量調整

3 各項目を設定



着信音量：

着信音量をレベル1～16に設定する。(初期値：レベル4)

受話音量：

受話音量をレベル1～16に設定する。(初期値：レベル4)

送話音量：

送話音量をレベル1～5に設定する。(初期値：レベル3)

自動応答保留：

電話着信時の2秒後に電話をつなぎ、保留状態にする。(初期値：OFF)

車載機の着信音使用：

本機からの着信音を使用するかどうかを選択する。(初期値：OFF)

— お知らせ —

- 車両のスマートパーキングアシストシステム（駐車時に音声で案内する機能）が作動中の場合でも、通話音量および着信音量は調整できます。

— MEMO —

- 着信中、または通話中に、▲ ▼ を操作しても、音量を調整できます。
- 通話中に音量を調整した場合、ほかのオーディオソースに切り替えて音量を変更しても、次回電話を受発信したときは通話中に調整した音量で通話できます。

Bluetooth機能のON/OFFを切り替える

携帯電話によっては、携帯電話側の問題で通信異常が発生し、操作が正常にできなかったり、表示されないことがあります。その場合は、Bluetooth機能のOFF→ON切り替えを行ってください。(初期値：OFF)

— MEMO —

- 携帯電話のBluetooth機能をOFF→ONに切り替える際には、本機のBluetooth機能もOFF→ONに切り替えてください。
- Bluetooth機能をOFFにすると、本機でBluetooth機能を操作できません。また、Bluetooth対応携帯電話から本機への接続や操作もできなくなります。

1 **MENU** ▶ **設定** ▶ **Bluetooth**

2 **Bluetoothで接続**

パスキー・デバイス名称を変更する

Bluetoothの設定の中で、扱いを別にしたいときなどに、パスキーとデバイス名称を変更できます。(初期値：パスキー「1212」、デバイス名「Gathers」)

1 **MENU** ▶ **設定** ▶ **Bluetooth**

2 **車載機のBluetooth情報・変更**

3 **パスキー または デバイス名**

4 **新しいパスキー、または名称を入力**

5 **決定**

— お知らせ —

- デバイスアドレスは変更できません。

電話のメモリをすべて消去する

1 **MENU** ▶ **設定**

2 **電話** ▶ **メモリ消去**

3 **メモリ全消去**

4 **はい**

短縮ダイヤル、電話帳および発着信履歴のすべてのデータが消去されます。

Siri Eyes Free機能を 使う

Siri Eyes Freeは、iPhoneと本機をBluetoothで接続し、車載のマイクとスピーカーによって、音声アシスタント機能『Siri®』を利用する機能です。

Siri Eyes Free機能により、iPhoneを手で操作することなく運転中も安全にSiriを利用できます。Siriとは、iPhoneを音声で操作できる機能です。

準備

- 別売の外付けマイクの接続が必要です。
- iPhoneを本機に登録（ペアリング）します。
→ P.87
- iPhoneのSiri機能をONにします。詳しくはiPhoneの取扱説明書等をご覧ください。

— お知らせ —

- Siri Eyes Free、SiriはiPhone 5、iPhone 4Sでご利用になれます。また、iOS®6.1以降をご利用ください。

1 **AUDIO** を長押し、
またはオーディオリモコンスイッチ
(別売) の **MODE** を長押し

Smartphone VR画面が表示されます。

Siri起動中は、画面上部に
アイコンが表示されます。



発話キー

— MEMO —

- 車両によっては、オーディオリモコンスイッチ（別売）の **SOURCE** を長押ししてください。
- 同時に2台の携帯電話を接続している場合、使用機器として選択したiPhoneのみ、本機の操作によりSiri機能を起動できます。

2 マイクに発話する

iPhoneのSiri機能が動作します。

続けてSiri機能を動作させるには、発話キー、**AUDIO**、またはオーディオリモコンスイッチ（別売）の**MODE**を押してから、マイクに発話してください。

Siriを終了するには、以下のいずれかを行います。

- Smartphone VR画面の**終了**をタッチ
- **AUDIO**を長押し
- オーディオリモコンスイッチ（別売）の**MODE**を長押し

— MEMO —

- 走行中などの使用状況によっては、iPhoneが音声認識できない場合があります。
例：高速走行時や窓があいている場合、エアコンの風量設定が大きい場合など、周囲の騒音が大きい環境の場合
- 携帯電話の電波が届きにくいところでは、Siriが適切に機能しなかったり、応答に時間がかかることがあります。
- エンジンキーが「OFF」のときにiPhoneでSiri機能を起動し、その後エンジンキーを「ACC」、または「ON」にすると、本機のSmartphone VR画面が表示されない場合があります。その場合はSiri機能をいったん終了し、再度起動させてください。
- Siri起動中であっても、iPhone側の動作状態によっては、Siriが適切に機能しなかったり、Siriモードが終了してしまうことがあります。
- Siri起動中は、各種オーディオ機能を操作できません。
- Siri機能を使ってiPhoneのオーディオを再生した場合は、自動的にSiri機能を終了して、本機のBluetoothオーディオモードに切り替わります。
- iPhoneのオーディオ再生中にSiri機能を使って楽曲再生を指示した場合、オーディオモードはBluetoothには切り替わらず、iPodモードで再生します。
- iPhoneをUSB接続した状態でオーディオが「OFF」の場合、Siri機能を使って楽曲再生指示を行っても、オーディオは「OFF」のまま楽曲再生は行いません。

- Bluetoothオーディオ再生開始時、iPhoneが読み上げた楽曲名と再生される楽曲が一致しない場合があります。
- iPodオーディオを聴いている場合は、Siriが適切に機能しなかったり、Siriモードが終了してしまうことがあります。
- iOSのバージョンによっては、Siriの終了に時間がかかる場合があります。

表示画面を切り替える

Siri起動中でも**現在地**や**MENU**を押すことで、Smartphone VR画面から地図画面やメニュー画面に切り替えることができます。地図画面やメニュー画面でもSiri機能はご利用になれます。

メニュー画面からSmartphone VR画面に戻るには、**Smartphone VR**をタッチします。

メニュー画面



Smartphone VR画面に戻ります。